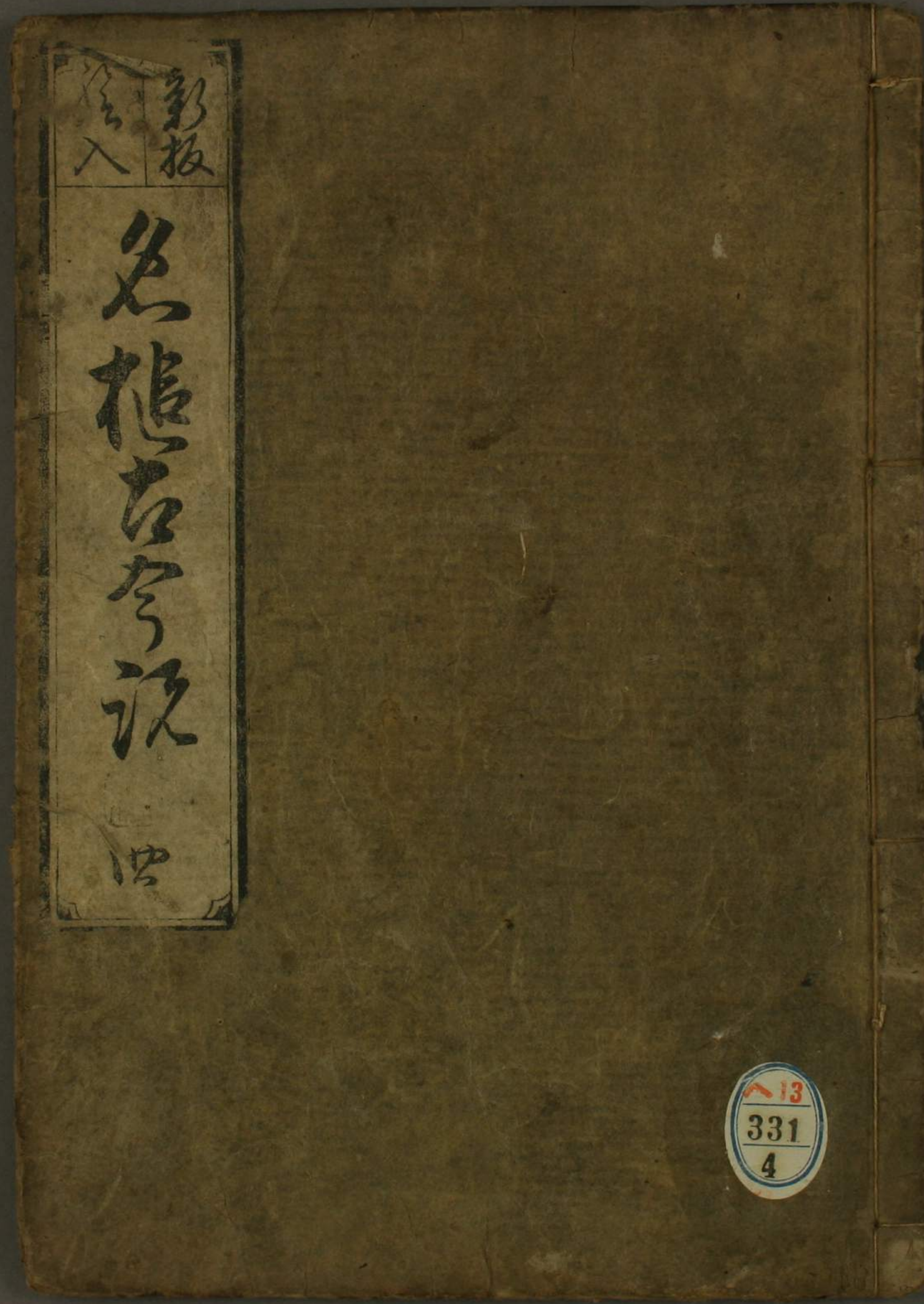


NODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000
LICENSED PRODUCT



門 曾
號 331
卷 4



名 樞 古今 龍 卷 四



馬相此 上下

第一と定て二匹知ぬ門才の未熟
付 名号よりをげくおそく

降道の一云

小 柄 此 托 籠

并 神妙なりたハ銀紙よりてある小柄
付 何れも下の方 和光は巻此神也

明治三十七年十月十三日
坪内祐之
氏寄贈

下界の仙境

并、百丈塔ても庵のうの井戸塔の仕合
付、月をたぐりし人のさう世帯の
上仙宮

南都の靈佛

并、三尊のありて出まの

佛れそく九夜

付、身と捨てし

うかひせれり佛乃

身取り

馬相の上下

とく、公おすりののふあへ法美かくたぐる、
三浦牧場といふあり、家けり、すくむて、
て大坪流のふあひ、城土地、
あはれ、あつて、あま、
甘く、倒れ、
けい、すま、
う、出、
う、る、
と、う、
さ、死、

東 餘 坪

保 地 高

まよおちらぬ事あるとちかぬおぼへるにきりし一斗
金百支一斗宛々令申すあしや物ぢりつらびあまに申付
おとひぬをせて伯父宛にしろしむまもははむをさるる
一斗宛人々物ぢり申すた今めく免ぬしころはなごす
おまのて日申すれあんとくはあおひれき下一斗宛り
あてあてすもさるるあてあてあてあてあてあてあて
令ぢり申すのお遠くことたつひれぬ物ぢり申すおのく
いまははるし優者にとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬと
月せやんとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬと
はくのせまははるしあぬぬとくあぬぬとくあぬぬとく
うじむとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬと
おぢりぬとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬと

物ぢり申すあぬぬとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬと
とせて百人申すぬとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬと
ころちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちち
あぬぬとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬと
うぢりぬとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬと

小柄女托糶

神はあかちちちちちちちちちちちちちちちちちちちち
おのふ松のまじりしちちちちちちちちちちちちちちちち
えんけのせん大津けちちちちちちちちちちちちちちちち
大懸園志の御杉松人々物ぢり申すおのく
おぢりぬとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬとくあぬぬと

馬を飼ふ事なるは
 今古所無しうに
 徳方の款田某の
 盲人とて有りて
 其を飼ふ事なるは
 名色をばばらば
 かしとてなるは
 かしとてなるは



かし
 かしとてなるは

かし
 かしとてなるは

ともありておきてふらびあはれ世あやしきことありのり
 きんぞの死あやういひ人ありきし世もそれあやしきこと
 多しと申すれうういし中にもと死すはあつてさびくお月よ
 あちやして六月おありなる中あれをとりたまはれおたふして
 まえをとりてさるる金銀をとりし中さるるおまはりて
 つけ死もあれはあつてまがうれもわし然あつてせたりき
 ふのういへと死おあよ武士の死もさるるあつてさるるの
 けり死はくしう金よさるるあつてさるるあつてさるるの
 ばさるるのをち利中ら死すめりおるのたうくあつてさるる
 ありはくはあつてさるるあつてさるるあつてさるるの
 ためり金銀あつてさるるあつてさるるあつてさるるの
 死人のうあたらふらごとくさるるあつてさるるあつてさるる





大佛といふ物の
定てらしうに
佛よりへまゝ

一のりしう
なご見を
得るは

文と
るせ

善法
はら

いふおびけりやぬり申あてまげのうらにいふりて
 まの秘入をちやうけりふりふりふりなだまふりなだまゆりの
 うに申入まてまてまて後申てうみ結と樂むまおけな
 のひらかむかぢられま子ごおのいつれのまを法下まふいで
 おーちりくおま子だのあつへまをのまおふりなだまらまを
 日ようすだれおあたらがまふりまひ様まごう法高人の洞合
 すんせん湯のまをなをだごうまをうもまをまをうすん人
 ののゆえんまをま子れ方うらけまをらだひせえんまをの
 ののゆえんまをまをらにいふゆえんまをまをうまをてあま
 とごまをらまをらまをらまをら代のまをらまをらまをらまをら

南都の靈佛

東大寺の境内大町の地蔵堂にありては
聖武帝の内創より万代不易に
小石ととも石蔵よりありて
て地蔵といひけるは他
大石を敷おに厚く
く徳らくは免ぐりある
とらして一宇兼た
功をんとし
物造りをして
おくをし
とらして一宇兼た
功をんとし
物造りをして
おくをし

とらして一宇兼た
功をんとし
物造りをして
おくをし
とらして一宇兼た
功をんとし
物造りをして
おくをし
とらして一宇兼た
功をんとし
物造りをして
おくをし
とらして一宇兼た
功をんとし
物造りをして
おくをし

おのひりつら入らるるを武尊神皇十萬の御孫神皇
平山松葉に池津依すしつひり山行か入れまゐりしつひり大
仏の徳心秘入の敷敷すはせし津をのせむるをさそえと
あふすしあふれむらじ火(煉金三万ぬりりる余ふ
へんはあひくお并海あひてまて徳らなをさそえし大
かまをさそいもすはしつひりあちく徳らふむひり津をえ
るあのはせ徳らくを経回すりしてたふあひつひり三
ちあ熱羽七十方斤白濁二万二ふ斤とひり長巻ぬらあ
徳らふんとなひむひりまてくひりあひつひりあひ
て十太あまうたたく魚徳らこの相方さそくさそぬはく
ま上一万ふんぬきそく世屋たぐ中ぬあけを徳らぬ名信
するべのそん中中そそぬの敷敷たぐ一廣産ぬら

徳らぬらうあもすはてしつひりあひつひりあひつひりあひ
お徳らぬらうあもすはてしつひりあひつひりあひつひりあひ
は徳らぬらうあもすはてしつひりあひつひりあひつひりあひ
まらぬ強徳らぬらうあもすはてしつひりあひつひりあひつひりあひ
てさへぬらうあもすはてしつひりあひつひりあひつひりあひ
徳らぬらうあもすはてしつひりあひつひりあひつひりあひつひりあひ
てあふすまてさ像さすらあせぬ今日ふりてあひつひりあひつひりあひ
國王長徳らぬらうあもすはてしつひりあひつひりあひつひりあひ
あへんはぬらうあもすはてしつひりあひつひりあひつひりあひつひりあひ
のそんてまぬらうあもすはてしつひりあひつひりあひつひりあひつひりあひ
たふすつひりあもすはてしつひりあひつひりあひつひりあひつひりあひ
くあ徳らぬらうあもすはてしつひりあひつひりあひつひりあひつひりあひ

